

大分県 県・市町村社会教育委員研修
令和3年6月18日(金)

3密を避けて社会教育は生き続けられるか

～アフターコロナ時代の学びとつながり～

独立行政法人教職員支援機構
つくば中央研修センター長
清國 祐二

コロナ禍がもたらしたものの



独立行政法人教職員支援機構

機構について | アクセス | お問い合わせ | English

サイト内検索

研修・セミナー オンライン講座 支援事業 調査研究 教員免許 情報提供

このブロックには、様々な教育支援コンテンツのサムネイルが並んでいます。例えば、「45分」のセミナー、キャリア教育、フューチャー人材、教員研修シリーズの「道徳教育」や「学習指導要領」に関するもの、そして「自立活動」に関する資料などが含まれています。

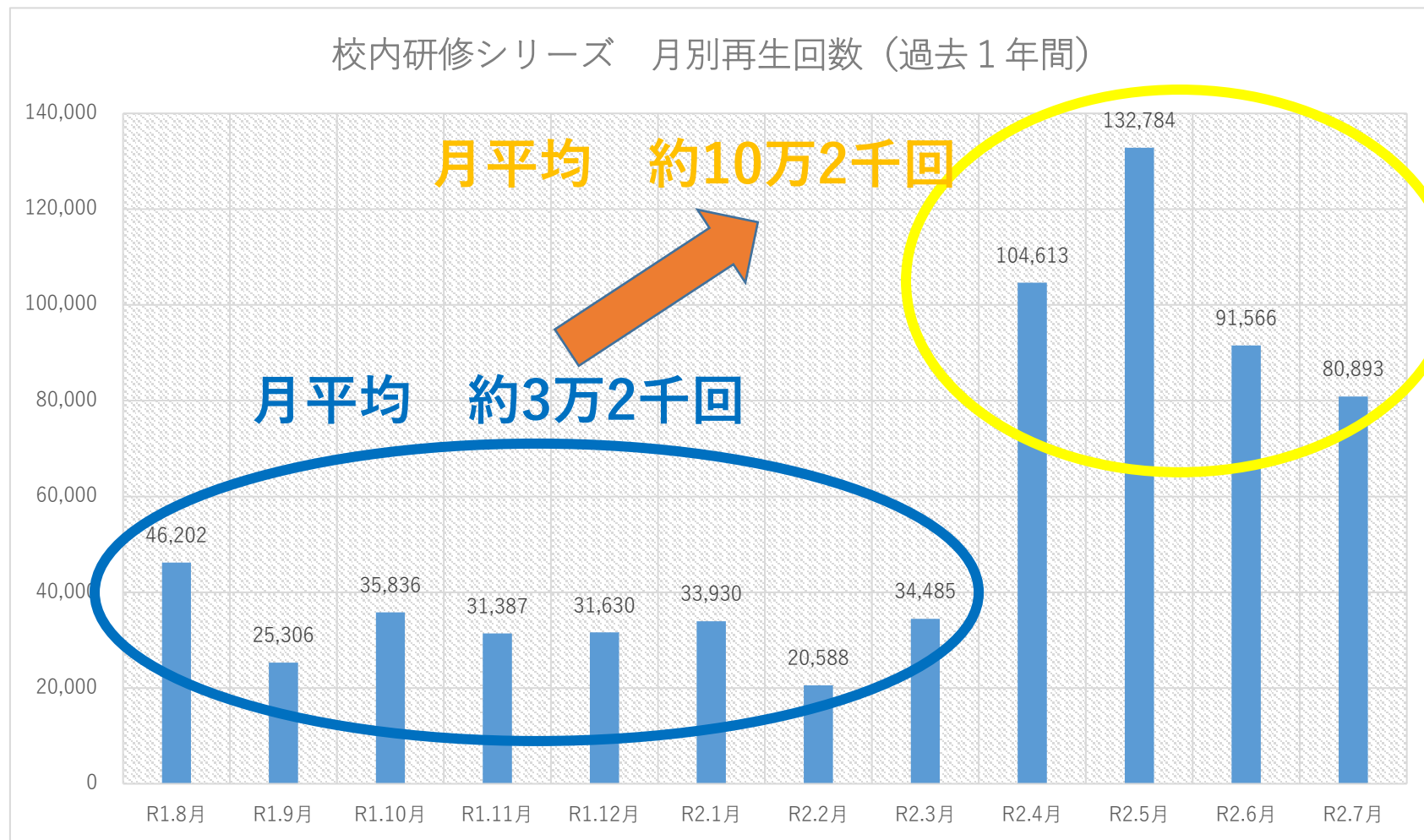
教職員の学び応援ページ

～教職員支援コンテンツ特設ページ～

このブロックには、さらに多くの教育支援コンテンツのサムネイルが並んでいます。右側には「> もっと読む」という大きな黒いボタンが配置されています。内容は、教員研修シリーズの「学びの相互理解」や「基礎的・基盤的知識」に関するもの、そして最新の教育動向に関する資料などが含まれています。

機構Webサイトのトップページ

NITSオンライン講座（平成29年度以降本格提供）



視聴回数が約 **3.2倍** に！

学校教育・社会教育のICT化について(全体像)

＜学校教育＞

- ・GIGAスクールの本格実施から強制的に進む
- ・教職員の役割が変わる？(ファシリテーターの機能へ)
「教える」役割から、「深い学び・協働的学びに導く」役割へ
「知識」はタブレットの中・向こうにある時代へ(東進ハイスクール)
- ・子供の自律性(非認知能力)をどう育てるか？
これなくしてICT化は成立しない(学ばない・働かないという選択権)

＜社会教育＞

- ・ICT化はすでにSNS・個人学習で相当進んでいた
すでに両極化の状況はあり、コロナがあぶり出すことに
- ・アフターコロナでは、社会教育は元の状況に近づく
ウィズコロナではICTの併用もあり得る
自治会やPTA等、自発性の乏しい組織(地域による)はICT化が進む

“東進HS”の魅力は？

全国の学校がオンラインで
つながるとすれば・・・

- ・・・約10年後(次の学習指導要領)には
「授業」はタブレット・配信型になるでしょうか？

“Society 5.0”の時代

- ・・・50年後にも「今のスタイルの学校」は
存在しているでしょうか？

“校舎”“教室”“机”“黒板”“プロジェクター”等

社会教育の特性について

<学習目的の類型>

- ・目標指向(志向)型

学習の成果を生活(仕事を含む)に役立てる
役に立つ実学(資格取得を含む)を重視する

- ・活動指向(志向)型

学習の中身より、社会や仲間とのつながりを重視する
学習はそのための手段と受け止める

- ・学習指向(志向)型

知的好奇心旺盛で、学ぶことが生きがいに通じている

どの“型”が“ICT”や“対面”に向くのか？

- ・前者は、目標指向や学習指向に近い

- ・後者は、活動指向に近い

しかしながら、前者も“実社会・実生活”でその価値が高まる
ICTには「余白」「のりしろ」「遊び」が少ない

ウィズコロナ時代の学び

“学び”や“関わり”について制約も・・・

- ・「新しい生活様式」や「ニュー・ノーマル」
3密は依然として継続が求められる
「マスク」の着用は引き続き
- ・「匿名性」が高まり、より「自律性」が求められる
「ながら受講」がノーマルとなる？
「自律性」に欠けると学びの成果につながらない

“学び”や“関わり”について可能性も・・・

- ・「困難を抱える」学習者からの接近
盲・聾・身体障害の方からアクセス可能になる
経済的困難や環境的困難は依然として問題のまま
- ・「匿名性」が高まり、より「自律性」が求められる
「ながら受講」がノーマルとなる？

“ICT”は敵でなく、味方である

“目的別”の学習（様々な学びを思い浮かべましょう！）

- ・ICTを活用した学習会を催したい・・・と思ったとき
使い方（便利な機能）を教えてくれる（場所を問わず）
- ・講義動画を作成したい・・・と思ったとき
テレビカメラ・Zoom・YouTube等、さまざまな方法を教えてくれる
- ・移動時間が確保できない・・・と思ったとき
ICTの活用でリアルタイム参加が可能となる
- ・多くの人に伝えたい・・・と思ったとき
ライブの録画ができ、YouTube等にアップロードできる

最適な手段の組合せで

目的を達成する！と考えましょう

オンライン講座の“作り手”となることも？

誰もが**制作者**になれる

誰もが**発信者**になれる

・・・**制作者**に

パソコンやタブレット(スマホ)で比較的簡単に！
懇切丁寧な“動画”も準備されている！

・・・**発信者**に

YouTube等、無料で配信できるサイトも
SNSの活用も

私の体験を紹介します

大学の講義がオンラインになった！

しかも、オンデマンド(学生の都合で視聴可能)

収録を1から勉強するには

時間 が **ない** !!

ネットで調べることはできるが...

やってみないことには

実感 が **わかない** !!

そこに、

天使 や ヒーロー

が現れた！！

今、流行の **YouTuber** のみなさん

私も、**授業動画**を作ってみました！
「Zoom版」と「パワポ版」のふたつ

結論的に、

現段階では「**パワポ**」に**軍配**

やっと「**カメラ目線**」で授業の収録が
できるようになりました！！

令和2年度香川県社会教育委員連絡協議会研修会

社会教育と社会教育委員の役割



令和3年3月19日実施→録画仕様

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター長

清國 祐二

ICT化によって

学習の何が変わるのか？①

“学習スタイル”

- ・・・学習はそもそも“個人”のものである
 - Aさんの理解が深まることで
 - Bさんの成績が向上することはない
 - Bさんの成績を上げるには
 - Bさんが理解を深めるしかない
 - ただ仲間の存在が
 - 意欲や持続性を生み出すことはある

“学習”の基本は・・・



それぞれが画面を通して個人学習を行います・・・

“受講形態”にも変化が！



講師がコロナ禍で来られなくても
集合学習(学び合い)は成立する？

さらに“演習形態”にも・・・



演習で飛沫感染を防ぐ対策も
(ワクチン接種は本当に安全の確保につながるか?)

“受講姿勢”には？

「ながら受講」
も可能となる？

「学びの本質」「学
ぶ力」が問われる

「人間性の成熟」
「自律性」も



見えない力(非認知能力)が求められる。
学校教育ではさらに不可欠な力へ。
どこで、どうやって、身に付けさせる？

社会教育委員の会議も？

“会議”の“オンライン化”はどうでしょう？

- ・「県」でいえば「ボーダレス」も
「高知県社会教育委員」が3期目に突入することに…
- ・日本一狭い「香川県」であっても
移動時間は気になるところ
そうは言いつつ、やはり「対面」に限るのか…

“技術革新”は“日進月歩”で

- ・発言がテキストとして記録可能に
発言が自動的に文字に置き換えられる(多少の誤変換)
会議運営の方法に工夫ができそう
- ・「傍聴」や「録画」なども技術的には可能に
やむを得ず欠席した場合も参加できる→会議の位置づけが変わる？

ICT化によって

学習の何が変わるのか？②

“受講環境”が！

- ・・・ひょっとすると対面では参加しづらさを感じていた人がいるかも知れない
- ・・・交通手段や障害等で参加できなかった人も
- ・・・家庭の事情で参加できなかった人も

しかし、経済的な問題や

デジタルデバイド(格差)が新たな課題へ

ICT化によって

学習の何が変わるのか？③

“ボーダレス時代”へ！

- ・・・どこで開催されようと参加可能
海外の学習機会も理論的には！
- ・・・交通費がかからないため
受講料に回せるようになるかも！
- ・・・資格取得の格差は
都市と地方では発生しなくなる！

あふれる情報から選べるリテラシーが必要

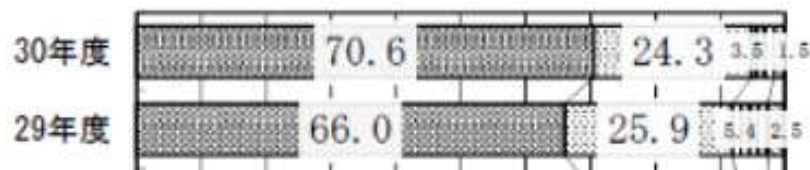
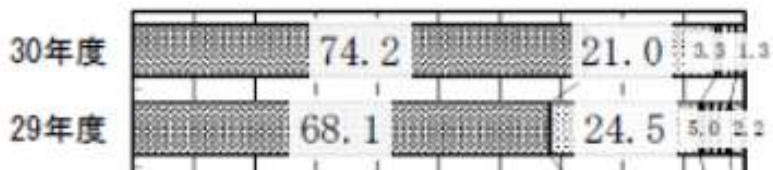
【児童生徒質問紙】人の役に立つ人間になりたいと思いますか

回答割合

小学校

中学校

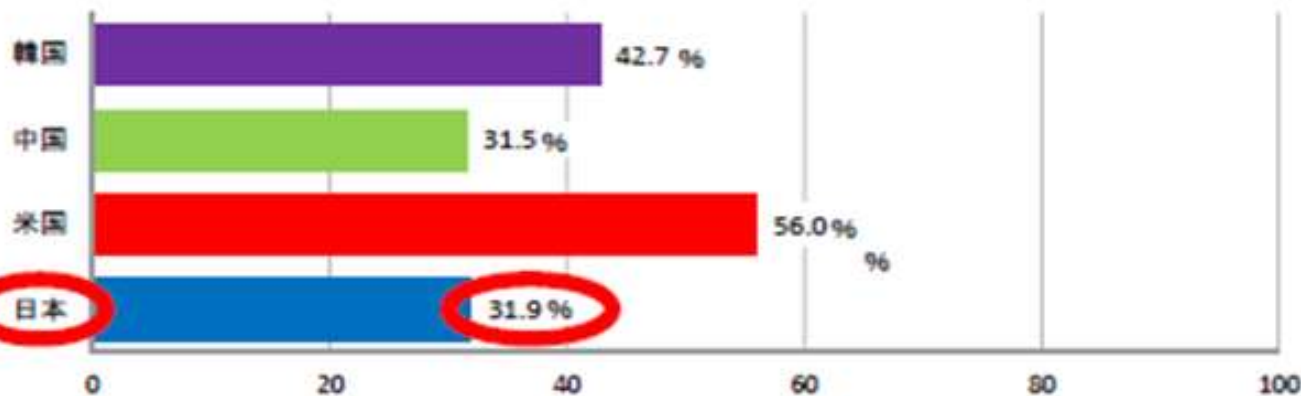
児童生徒は「人」に何を重ね合わせているのでしょうか？



平成30年度全国学力・学習状況調査結果

(上段)94.9%と(下段)31.9%との違いは？

- 問「あなたはこれからの人生をどのような目標を持って生きていきたいですか」について、「社会のために役立つ生き方をする事」の項目に「とてもそう思う」「まあそう思う」と答えた生徒の割合（高校生）



出典：
 (独) 国立青少年教育振興機構
 「高校生の生活と意識に関する調査
 報告書－日本・米国・中国・韓国
 の比較－」（2015年8月）
 より文部科学省作成

何が変わるのか？

“学校・学力”の動向

・・・学校に変容が求められている！

「社会に開かれた教育課程」

「地域とともにある学校づくり」

背景には求められる人材像がある

地域社会の解決(絶対解のない問)に取り組む

地域・社会に変革(イノベーション)をもたらす

共生社会(人間らしく暮らせる社会)を実現する

「社会に開かれた教育課程」(学習指導要領)

学校教育は学校内に閉ざされない

- ①社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ②これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

社会との関わりの文脈で教育を再構成する視点

国際動向 (OECD Education 2030プロジェクト)

学習者のエイジェンシー(≡社会の形成者)

エイジェンシーは、社会参画を通じて人々や物事、環境がより良いものとなるように影響を与えるという責任感を持っていることを含意する。また、エイジェンシーは、進んでいくべき方向性を設定する力や、目標を達成するために求められる行動を特定する力を必要とする。

エイジェンシーの発揮を可能としていくためには、教育者は学習者の個性を認めるだけでなく、例えば、教師や仲間たち、家族、コミュニティなど、彼らの学習に影響を与えているより幅広い関係性を認識する必要がある。この学習枠組みの基礎となる概念が、「共同エイジェンシー」であり、すなわち、学習者が目指す目標に向かって進んでいくことを支える、双方向的で互恵的な協力関係のことである。この文脈では、誰もが学習者とみなされるのであり、それは生徒だけでなく、教師や学校管理職、保護者やコミュニティの人々も含むものである。

出典: 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室作成資料「OECD Education 2030プロジェクトについて」

国際動向 (OECD Education 2030プロジェクト)

未来を築くコンピテンシー(≡知識やスキル、態度及び価値を動員する(使いこなす)能力)

変革を起こす力のあるコンピテンシー(要約)

①新たな価値を創造する力

今後のイノベーションは、他者との協力と協働により引き起こされる。この能力は、適応力、創造力、好奇心や、新しいものに対して開かれた意識を含む。

②対立やジレンマを克服する力

矛盾した考えや相容れない考えや論理、立場についても、それらの相互のつながりや関連性を考慮しながら、より統合的な形で考え行動することを学習する必要がある。

③責任ある行動をとる力

この能力の中核には、自己調整の考え方があり、自己コントロール、自己効力感、責任感、問題解決、適応力を含む。(中略)思春期は、もはや、単に脆く傷つきやすい時期としてではなく、責任感を醸成する機会として捉えられる。

転換点に立って

切れ目のない教育を

- ・・・学校教育のベクトルを確認しましょう
- ・・・生涯学習・社会教育の目指すべき方向も確認できたのではないのでしょうか
- ・・・現象から目をそらすことはできませんが、過度にとらわれ過ぎず、

人生＝教育 で捉えなおしましょう

GIGAスクール構想 が一気に！

「学校」は？「授業」は？

「教師の役割・仕事」は？

・・・変わるの？変わらないの？

目指すべき次世代の学校・教育現場

- ✓ 学びにおける時間・距離などの制約を取り払う ～遠隔・オンライン教育の実施～
- ✓ 個別に最適で効果的な学びや支援 ～個々の子供の状況を客観的・継続的に把握・共有～
- ✓ プロジェクト型学習を通じて創造性を育む ～文理分断の脱却とPBLによるSTEAM教育の実現～
- ✓ 校務の効率化 ～学校における事務を迅速かつ便利、効率的に～
- ✓ 学びの知見の共有や生成 ～教師の経験知と科学的視点のベストミックス(EBPMの促進)～

資料：文部科学省ホームページより

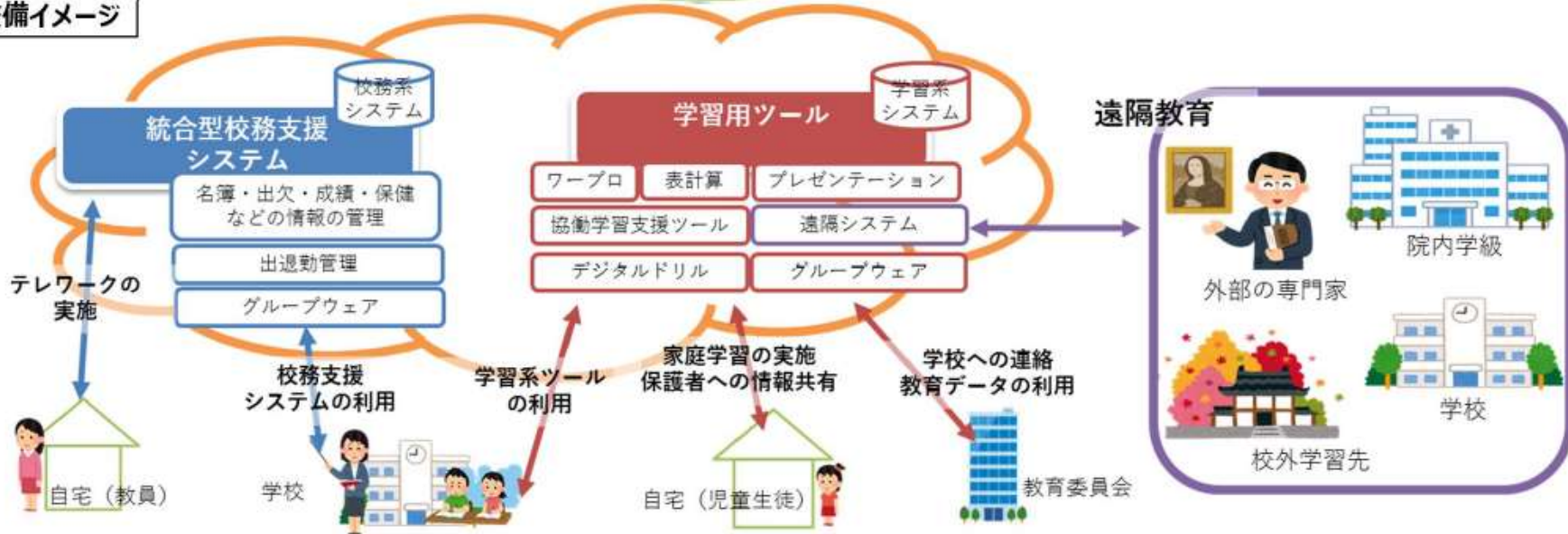
GIGAスクールによって？

「ICT化」によって、利便性が高まる！

「ICT化」は、子供の「自律性」をより求める！

改訂版「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえ、クラウドを活用することで、より安全・安価かつ効率的に、ICT環境整備を行うことが可能

環境整備イメージ



資料: 文部科学省ホームページより

ご清聴ありがとうございました

社会教育の未来を明るくするために
今後とも力を合わせて頑張りましょう